

「地域でがんばる次世代エンジニア ホンネトーク！」

(株)帯広シティーケーブル (OCTV)
技術部技術課 鵜野 直樹

. 自己紹介

大学卒業後、地元帯広の情報処理系企業にて、プログラマ。

OCTVに1999年入社。

最近の趣味は、マラソン、水泳。

1973年生まれの37歳。

. OCTVのこれまで

- 1985年 8月 都市型CATV局として開局(300MHz伝送路)
- 1999年 5月 ケーブルインターネットサービス開始
- 2003年 4月 FTTHインターネットサービス開始(SS方式)
- 2006年 7月 FTTHデジタル放送サービス開始(PON方式)
- 2007年10月 地上デジタル、BSデジタル、CATVデジタル放送開始
- 2009年 4月 帯広市内全エリアのFTTHデジタル放送エリア完成
- 2010年 1月 帯広市内一部エリアでWiMAXトライアル開始

事業概要

FTTHによるテレビ、インターネット、電話サービス。WiMAXインターネットの開始

◎放送サービス「ひかりテレビ」

(地上、BS、CS)デジタル放送、(地上、BS、CS)アナログ放送、FM再送信、自主制作放送(デジタル、アナログ)

◎インターネットサービス

- ・光ネット プレミア (SS方式による100Mサービス)
- ・光ネット ハイパー (PON方式による100Mサービス)
- ・光ネット ミディアム (PON方式による25Mサービス)
- ・光ネット ライト (PON方式による5Mサービス)

◎OABJ電話サービス

ケーブルライン (ソフトバンクテレコム)

◎WiMAXインターネットサービス

本サービス開始は年内を予定 (モニターサービス実施中)

事業概要

同軸ケーブル網によるテレビ、インターネットサービス

◎放送サービス

(地上、BS、CS)アナログ放送、FM再送信
自主制作放送(アナログ)

◎インターネットサービス

- ・ランラン ベーシック(Teracomシステムによる2Mサービス)
- ・ランラン エコノミー(Teracomシステムによる384Kサービス)

※今年度内でのサービス終了予定、FTTHサービスへの移行促進中。

. 仕事

私の仕事

BGPルータ、(L3、L2)SW構築・運用

各種サーバ構築・運用

CMTS運用、GE-PON運用

IPアドレス申請・管理、VLAN管理

ISPサービスの事務処理

(顧客メールアドレスのサーバ登録、設定書発行・発送

通信サービス変更、休止再開、解約の処理)

カスタマーサポート

障害対応

社内SE

自主制作放送での中継回線構築、音声ミキサー、スイッチャー、カメラ

・ 自らの課題と将来展望

会社環境の変化

- ・ケーブルインターネットサービスの導入、ADSLとの勝負！
- ・SS方式での光インターネットサービス開始で、Bフレッツとの勝負！
- ・GE-PON方式での放送・通信サービス開始で、Bフレッツとの勝負！
- ・OABJ電話サービス開始で、ひかり電話との勝負！

. 自らの課題と将来展望

会社環境の課題と展望

今後…

WiMAX事業の開始、スモールスタート、ローミング課題

本別町へIRU方式でのエリア増設(今年度)
コラボ企画

来年のアナログ放送終了、デジタルサービスへの移行
同軸伝送路の全廃、完全FTTH化へ向けた取り組み

．自らの課題と将来展望

仕事環境の変化

- ・当初、2人で2年
- ・カスタマーサポート系で1名増員
- ・FTTH伝送路網の構築開始で、工事管理担当2名増員
- ・PONサービス開始で、
工事発注、伝送路管理、カスタマーサポート要員、2名増員

現在7名

. 自らの課題と将来展望

仕事環境の課題

技術習得の変遷・・

同軸系システム、CMTS、DNS、メール、WWW、アナログ放送



光系システム、ルータ(MPLS、BGP)、SW(L2,L3)、ASP化、デジタル放送、電話、WiMAX、IPv6

．自らの課題と将来展望

仕事環境の展望

来年度以降・・

FTTHへの完全移行、アナログ停波、IPv6の対応



既存サービス終了による機器撤去、管理システム整理



新たなサービス創造・構築

．自らの課題と将来展望

生活環境の現状

プライベートと仕事・・・

- ・自宅で仕事メール見ます。

- 返信、書きます

- ・出張先や自宅から、リモートメンテナンス環境あります

- 仕事しちゃいます

仕事とプライベートの境界がかなり曖昧に。これでいいのか？

．技術者交流活動を考える

社外技術者との交流活動機会

人員が少ないころは、事務処理対応、サポート対応、夜間、休日障害対応などで、出張にいける状況ではなかった。

人員増加した5、6年前から、Interop、Internetweek、JANOGなどに参加できるように。

BGPのオペレーションを開始するにあたり、JANOGの活動を紹介され、ミーティング参加。JANOG20帯広開催では、実行委員として参加。

日本ケーブルラボでの、IPv4枯渇対応プロジェクトに参加。ケーブルインターネットでのIPv6対応へのプラン策定お手伝い。

．技術者交流活動を考える

技術者交流活動について。意義やメリット

活動をしている方は、
情報収集力、発信力、行動力、実行力がある。

交流活動に参加することは、
上記のようなさまざまな“力”をもった、いろいろな方々と知り合うことができ、
人間関係、仕事関係の有機的な広がりを得る、よりよい機会。大きな意義。

．技術者交流活動を考える

技術者交流活動について。問題点など

行きたいイベントや勉強会はかなりありますが・・

開催地が東京周辺、
札幌でも、なかなか頻繁には行けない。

直前に日付が確定したイベントやミーティングには、
出張稟議が間に合わない。
出張稟議も、よほどのメリットが無い限り、なかなか通らないのが現状。

最近ではネット中継、Ustreamも多くなっているが、
業務をやりながら見ていると、業務が横から入ってくるので、
結局、集中してみれないことが多い。

．技術者交流活動を考える

技術者交流活動について。将来にむけて

※ひそかな野望

首都圏に、活動拠点を。

- ・特に今後数年間の変動・変化を、リアルに感じ取れる状況下になければ、地方企業は、大手にあつという間に淘汰される危惧を大いに持っている。
- ・(内容の良し悪しは別にして)得られる情報量が格段に増えるので、取捨選択して、地元フィードバックしたい、と考える。
- ・インフォーマーシャルエンジニア？（有益な情報を広報）

END